

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小田原市斎場	階数	地上2F
建設地	小田原市久野3664-8	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、指定なし	平均居住人員	130人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600時間/年
建物用途	集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2017年5月23日
敷地面積	9,170 m ²	作成者	(株)大建設計東京事務所
建築面積	2,114 m ²	確認日	2017年5月23日
延床面積	2,909 m ²	確認者	(株)大建設計東京事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (0 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 84% (46 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 84% (92 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 84% (138 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	小田原市に計画された斎場である。敷地内に豊富な緑地による景観上の配慮や温熱環境の負荷低減に貢献している。また高効率な設備機器を採用し、運用上の効率的なエネルギー利用に配慮している。	
その他		
Q1 室内環境	・断熱性能の高い躯体材料を使用しており、温熱環境に配慮している。	Q2 サービス性能
LR1 エネルギー	・高効率な設備機器を導入し、エネルギーの効率的利用に配慮する。	Q3 室外環境(敷地内)
		・敷地内を積極的に緑化することで、温熱環境の向上に配慮する。
	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
	・節水器具を採用し、水資源の確保に配慮している。	・広告物照明の設置はない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除いた年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される